



JASDAQ

平成 30 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社大日光・エンジニアリング
代表者名 代表取締役社長 山口 侑男
(JASDAQ・コード 6635)
問合せ先
役職・氏名 取締役経営企画室長 為崎 靖夫
電話 (0288)26-3930

業績予想数値と実績値との差異及び

配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

平成 29 年 2 月 14 日に公表いたしました平成 29 年 12 月期（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）の連結業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、当期の業績を踏まえ、平成 29 年 2 月 14 日に公表いたしました平成 29 年 12 月期の配当予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値と実績値との差異

(1) 平成 29 年 12 月期連結業績（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	親会社株主に帰属 する当期純利益 百万円	1 株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	27,000	330	270	200	76.57
実績値 (B)	25,494	171	294	215	82.95
増減額 (B-A)	△1,505	△158	24	15	—
増減率	△5.6%	△47.9%	9.1%	8.0%	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 12 月期)	25,312	312	225	156	60.10

(2) 差異の理由

損益面では、競争激化の中、高付加価値製品の売上が伸び悩んだこと、及び人手不足による人件費増加等の影響を受けて製造経費・販管費が増加したことなどから、連結営業利益は 171 百万円（期初予想比 47.9%減）となりました。

一方、経常利益につきましては、為替差益や消耗品等売却益の増加に加え、タイの持分法適用関連会社の損失が減少したことなどから営業外損益が改善した結果、連結経常利益は 294 百万円（期初予想比 9.1%増）となりました。

上記に加えて、固定資産売却による特別利益、固定資産除売却による特別損失、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は215百万円(期初予想比8.0%増)となりました。

2. 配当予想の修正(増配)

(1) 配当予想の修正内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成29年2月14日公表)	—	10円00銭	20円00銭
今回修正予想	—	12円00銭	22円00銭
当期実績	10円00銭	—	—
前期実績 (平成28年12月期)	5円00銭	10円00銭	15円00銭

(2) 修正の理由

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続的に実施していくことを、利益配分に関する基本方針としています。

上記の配当方針及び当期の業績状況に基づき、期末の配当予想を前回予想の1株当たり10円から2円増額し、12円に修正することといたしました。

以上